

## 「第23回東京の10士業暮らしと事業のよろず相談会」

(平成29年10月14日) 開催報告

～アプレイザーダンサーズに挑戦した新人委員の話～

相談事業委員会委員 柘植 大徳

今年の6月にはじめて東京士協会の相談事業委員会の委員となった私は、8月下旬、「秋の不動産無料相談会」に向けて改善点や相談員のスケジュール調整などについて話し合うため「第2回街頭・定例相談小委員会」に出席していました。主要な議題が片付き、会議が終わりに近づいた頃だったと思います。

「今度ダンスの練習会をするので参加できる人、参加したい人はいませんか」と委員長が呼びかけをされました。20～30代の若い委員の方に対しては個別に声かけをされていましたが、私は特に何か言われることもなく、またダンスにも興味がなかったので、「自分には関係なさそうだな」と思い、委員会終了後、そのまま帰宅しました。その後、ダンスの話のことなどすっかり忘れていた9月中旬、、、

### 「お誘い」

と題した1通の電子メールが、副委員長から私宛に届きました。

何だろうと思ってメールを開くと、「10月2日、16時に東京都不動産鑑定士協会の方にお越し頂けますでしょうか。動きやすい格好で。」「10月14日の10士業よろず相談会の不動産鑑定士PRステージにて、アプレイザるちゃん、コンさるくんと共にフラッシュモブ(ダンスパフォーマンス)をしようという話があり、その

練習会です。」「是非是非、不動産鑑定士のイメージと一緒に覆しましょう。」という内容でした。

メールをくださった副委員長の方には7月下旬の第1回相談事業委員会ではじめてお会いし、委員会後の懇親会で少し話をした程度でしたが、真面目で、清潔感のある雰囲気には好印象を持っていました。

なので、その先輩委員の方から個別メールでお誘いいただいたこともあり、とりあえず練習会だけなら参加してもいいかなと考え、「運動・リズム音痴なのでダンスは踊れないと思いますよ・・・」と前置きした上で、「せっかくお誘いいただいたので当日伺いたいと思います。」と返信しました。

### そして、迎えたダンス練習会の当日、

東京士協会の会議室に吉村会長をはじめ、理事の方、相談事業委員会の委員長・副委員長、他の委員会に所属されている有志の委員、事務局の方々など総勢20名くらいの方が集まり、プロダンサーのAyumiさんから直接ダンスの指導を受けることになりました。

東京士協会が、さるのゆるキャラを作ったことは知っていましたが、ゆるキャラのダンスユニット「Ayumi&Monkeys」やキャラクターソング「アプレイザる&コンさるのソング～不動産鑑定士の歌～」があること、さらに、キャラクターソングにのせて踊っている「Ayumi&Monkeys」の映像が「YouTube」に公開されていることまでは知りませんでした。

ダンスを教えてくれるAyumiさんが、「YouTube」に公開されている「Ayumi&Monkeys」のAyumiさん本人であることも、この日はじめて知りました。

この日のダンス練習会の目的が、キャラクターソングにのせて踊っているAyumiさんのダンスの振り付けを教えてもらうことであることも、当日参加するまで分かっていませんでした。

2番まであるキャラクターソングにのせた振り付けについて、まずは1番の振り付けからAyumiさんが順



士業PRステージでのAyumi & Monkeys with Appraiser Dancers

番に丁寧に教えてくれました。周りの参加者の方は練習が進むにつれて徐々に踊れるようになっていくのが分かりましたが、これまでダンスなんて踊ったこともない運動・リズム音痴の私は、その場ですぐに覚えられないはずもなく・・・だんだん焦りを感じていました。

そして、1番の振り付け練習を一通り終えた時だったと思います。吉村会長が「14日に来られる人は手を挙げてください」と言われました。私も相談会に相談委員として参加する予定でしたので、私も手を挙げました。手を挙げた人数「12人」を確認されていました。

その後、2番の振り付け練習に進み、2番の振り付け練習も一通り終わった頃には・・・頭の中がごちゃごちゃになり、1番の振り付けの半分くらいが頭の中から飛んでいました。

2番の振り付け練習が終わると、1番・2番通しでの振り付け練習が繰り返し行われましたが、振り付けの基本動作、順番を覚えることができていない状態でしたので、スピードについていくことができず、悪戦苦闘していました・・・。

### 「やっぱりダンスは無理だ」

やがて、1・2番通しでの振り付け練習を一通り終えると、吉村会長が「先ほど14日に来られると手を挙げた人は左側に寄ってください」と指示をされました。が、私は全然踊れていないという自覚があり、「やっぱりダンスは無理だ」と思いました。さらに「吉村会長も前方で練習の様子をじっくりと観察されていたので、私が全然踊れていないこともよく分かっているはずだ」と勝手に自分を納得させ、そっと右側の方に移動しました。

吉村会長は、再度左側に寄った人の人数を確認しはじめました。

「11人・・・」

### 「あれっ、1人足りないな・・・」

誰がいなくなったんだろうと、みんな周囲を見回していました。

気まずい空気が流れ、その場の雰囲気になんて耐えられなくなり、伏し目がちに1歩前に出て「私、全然踊れてないから無理だと思い、外れました。」と正直に話しました。

内心、これで解放されたと思い「ほっと」しました。が、「踊れているから大丈夫だよ」「一緒にやりましょうよ」と皆さんから予想していなかった温かい

お言葉が返ってきました、、、

### 「私でよろしければ」

吉村会長も私を外すような素振りを見せなかったので、「私でよろしければ」と承諾しました。この瞬間、10月14日の10土業よろず相談会の不動産鑑定士PRステージで「Ayumi&Monkeys」の後ろで一一緒に踊る12人の選抜メンバー「Ayumi & Monkeys with Appraiser Dancers」（命名は吉村会長）に決まり、選ばれたことに対して素直に嬉しい気持ちになりました。

その後、フォーメーションなどが話し合われ、最初は2人、キャラクターソング1番の途中で4人が加わり、同1番が終わった直後に6人が加わり、徐々にダンスパフォーマンスが増えていく形で、最後は12人全員で踊って盛り上げようということに決まりました。

私は、1番が終わった直後に加わることになり、1番は踊れなくても大丈夫ということで少し気持ちが楽になったのですが、相談会当日はリハーサルをすることが難しいため、ダンスがぶっつけ本番の一発勝負になることを聞き、また不安な気持ちになりました。

結局、本番まで各自練習するようにとのことと練習会を終えたのですが、時計を見ると18時30分を過ぎていました。

### 「皆さんに迷惑をかけられないので、とにかく練習しなければ」

そう焦っていた私は、翌日から毎日、「YouTube」に公開されている「Ayumi&Monkeys」のAyumiさんの振り付けを見て練習をはじめました。毎日かかさずに練習したせいか、少しずつ違和感なく踊れるようになり、「YouTube」を見なくても振り付けの順番通りに踊れるようになっていきました。

直前に行われた街頭相談会に参加した際には、一緒に踊る委員の方に振り付けを教えていただいたり、本番前日には図書館に行って、トイレ内の大きな鏡の前で練習し、自分の振り付けを確認したりしました。

### 10月14日の10土業よろず相談会 当日

2回行われる不動産鑑定士PRステージで踊るダンスのことが気になって仕方ありませんでしたが、相談員というもう1つの大切な任務を任されていたので、相談内容に応じて他土業の専門家の方々と3人1組でチ

ームを組んで相談に応じていました。また、相談者の少ない時間帯には委員長からの指示で広報用の風船を持って、「無料相談会を実施しています！」と相談者の呼び込みをしたりしていました。

そうこうしているうちに、1回目の不動産鑑定士PRステージの時を迎えました。

私は、ステージ後方に待機し、キャラクターソングの1番が終わるのを待って、滴を持ってステージに飛び込んでいきました。緊張しながらも、ある程度踊れているとの自覚があり、張り切って踊っていたのですが、2番の終わりにさしかかった時、みんなと逆方向に踊っていることに気がつきました。

本番ではAyumiさんの背後で、後ろ姿を見ながら踊るのですが、「YouTube」を見ながら練習するときはAyumiさんの正面で、向き合って踊っていたので、いつの間にか動きが逆になってしまっていたのです。かなり動揺しましたが、とりあえずそのままごまかして踊り切りました。

しかし、2回目の不動産鑑定士PRステージに向けてもの凄く不安な気持ちになりました。時間もありませんでしたし、どう修正すれば良いのか分かりませんでした。

「どうしよう、踊りが逆だ」という自身の悩みを抱えながら、その後はまた相談員として都民の皆さんの悩みに対応し続けました。

そして、そろそろ2回目の不動産鑑定士PRステージの時間だと思って相談員の控え室で待機していた時、相談者に対応する相談員として私の名前が呼ばれました。

相談時間は1組当たり30分と決められており、このタイミングで相談が長引けば2回目のダンスに参加できなくなることは確実でしたので、練習してきたことが無駄になると思い非常に残念な気持ちになりました。他方、いまだに逆になった踊りをどうしたらいいのか解決できていませんでしたので、ダンスに参加できなかった綺麗な言い訳になるという思いも正直ありました。

そんな複雑な心境で相談者に対応させていただいたのですが、5分くらいでその相談は終わってしまいました。私は、駆け足で土業PRステージに向かいました。

すると、もう2回目の不動産鑑定士PRステージがはじまっており、「Ayumi&Monkeys」が踊っていました。とりあえず、ステージ後方に移動し、練習を兼ねて一緒に踊りました。が、PRステージの途中で来たので現在の進行状況がよく分かりません。また、周囲

と一緒に踊る委員の方の姿もありません。さらに、逆になった踊りをどうしたら良いか分からない。ということ、不安な気持ちが溢れ出しました。

そばで齊木副会長がステージの様子を見ていましたので、どのタイミングで飛び込めば良いか確認したのですが、飛び込むタイミングに自信が持てず、また踊りが逆になってしまったことで、ステージに飛び込む勇気を出すことができず、タイミングを逸し、結局最後までステージに上がることなく、ステージの背後で踊っているうちに終わってしまいました、、、

## ダンスデビューを終えて

こうして、「Ayumi&Monkeys with Appraiser Dancers」12人の選抜メンバーの1人として参加した不動産鑑定士PRステージでのダンスはほろ苦いデビューとなりました。

個人的には中途半端な結果に終わりましたが、「Ayumi&Monkeys」をはじめ、事務局、各委員のみなさんと一緒に楽しく踊ることはできましたし、通りかかった多くの人たちが足を止めて不動産鑑定士PRステージを見てくれていましたので、一定の満足感がありました。

相談会後の懇親会で、吉村会長に「2回目はステージに上がれなくて申し訳ありませんでした」とお詫びしたのですが、吉村会長からは「また来年1月に機会があるので、よろしくお願いします」との温かいお言葉をいただき、「次こそは」と心に誓いました。

## 最後に

不動産鑑定士のPR活動は、私たち自身のことなので、本来であれば私たちが自ら率先してやらなければならないことだと思いますが、昨年の10土業よろず相談会では、「Ayumi&Monkeys」が私たちの分まで不動産鑑定士のPRをしてくれたこと、

「Ayumi&Monkeys」が私たちの代わりに頑張ってくれていたことを知りました。みんな「Ayumi&Monkeys」をサポートして、不動産鑑定士をPRしていけるといいですね。

来年の10土業よろず相談会での不動産鑑定士PRステージは、今年以上にみんなで力を合わせて頑張りたい！！！！

